【参考資料１】

新潟市障がい福祉課
平成 25 年 7 月 18 日
第 2 回条例検討会資料

障がいを理由として生きづらさ・差別等の募集事例（福祉(サービス)分野）

事例１

事例	療育手帳のデザインを変更してほしい（表紙）。博物館で提示する時、「なぜ顔写真が表紙なのか」と毎回思う。デリカシーのないデザインだと思います。引越ししてきたとき、「ひどい」と思ってしまったくらいです。		
改善提案	他自治体の手帳のように、２つ折りの内側に顔写真を貼るデザインにして欲しいです。		
属性	知的／38 歳／女性／中央区	事例応募者	本人

事例２

事例	性的問題行動を持つ障がい者の家族が、行政窓口や家族会、相談支援事業者に相談しても、「性に関することは、個人的なことだから」「解決のノウハウが無いから」「寝た子を起こしてはいけないから」といった理由で、相談や支援を断られてしまう。		
改善提案	地域の NPO や家族会と連携した上で、当事者に対する性教育支援制度を整備し、行政担当者や福祉職に対して、「障がい者への性的支援」に関する研修を実施する。		
属性	自閉症／20 歳／男性／西区	事例応募者	事業者

事例３

事例	10 年ほど前から、二次障がいの進行によって、手足の麻痺が進行し、自力での射精行為が不可能になった。 しかし、現行の介護サービスの中では、射精に対する介助は行われていないため、10 年以上、射精行為を行うことができない状態が続いている。 射精介助を行っている NPO にケアを依頼しても、施設職員が「うちの利用者には、そうしたサービスを必要としている利用者はいません」と、勝手に断ってしまう。 この施設では、50 代の男性利用者も「ちゃん」付けで呼んでおり、一人前の大人＝性的存在として、みなしていない。		
改善提案	介護サービスにおける性的支援の欠如と、職員の無理解。 「障がい者には、性が無い」「生理やセックス、妊娠や出産とは無縁である」という思い込みが背景にある。 施設職員に対して、「障がい者への性的支援」に関する研修を実施する。 また、施設職員が、勝手に利用者の性的欲求の有無を代弁してしまうことや、利用者が射精介助を受けることを、正当な理由なく妨害すること、何十年も射精ができない状態のまま放置することを、障がい者のセクシュアル・ヘルスとセクシュアル・ライツに対する侵害＝「障がい者に対する性的虐待（ネグレクト）」とみなして、禁止する。		
属性	肢体不自由／50 歳代後半／男性／西区	事例応募者	事業者

事例４

事例	短期入所施設において、食事の際、「手足が不自由で、こぼしたり、音をたてるから周囲が嫌がる」、「いつまでも食べていて、時間がかかる」との理由で、他入所者とは別のテーブルで食事をさせられた。 食事介助を必要とする人と一緒にするなどの配慮が欲しかった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、精神／70 歳／女性／中央区	事例応募者	―

事例５

事例	日中一時支援を利用したくても、車椅子は対応困難との理由でバリアフリー施設の知的障がい者事業所で断られた。		
改善提案	車椅子の障がい者でも利用できるサービスを増やしてほしい。		
属性	聴覚・平衡機能、肢体不自由(上下肢不自由)、知的／19 歳／男性／西区	事例応募者	障がい者の家族

事例６

事例	発語がないため、サイン・指差し・コミュニケーション機器を利用しているが、事業所の職員が発語のある人としかコミュニケーションを取ってくれず、本人が意思表示をしなくなっていった。		
改善提案	コミュニケーション支援を制度化してほしい。(自立の基礎となるものが意思表示であると思います。親亡き後を考えると、どんなに重度者でも自立が必要となります。そのため、コミュニケーションは欠かせないものだと思います)		
属性	聴覚・平衡機能、肢体不自由(上下肢不自由)、知的／19 歳／男性／西区	事例応募者	障がい者の家族

事例７

事例	施設職員の対応の悪さで、通所できなくなる。(4 年間大変不安定) 近所の施設は施設職員の嫌がらせで行けなくなり、5 年間ひきこもっている。		
改善提案	―		
属性	知的／36 歳／男性／東区	事例応募者	障がい者の家族

事例８

事例	サービスの充実		
改善提案	サービスの充実		
属性	視覚／74 歳／男性／南区	事例応募者	ヘルパー

事例９

事例	福祉相談員の専門的な知識と明るい対応		
改善提案	福祉相談員の専門的な知識と明るい対応		
属性	視覚／74 歳／男性／南区	事例応募者	ヘルパー

事例１０

事例	身体に障がいがあり、デイサービスの利用等について、国民年金だけでは支払いができない。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／75 歳／男性／西区	事例応募者	本人

事例１１

事例	難病・障がいを持つ子どもへの差別は、数多く経験してきた。子どもに障がい（知的）があると、その母親に対しても、バカにした態度で接してくる施設職員がいた。施設において、「やめてもらいたい」という様な言葉を発せられると、親は辛いです。		
改善提案	保護者は、病気について良く勉強することが大事です。施設職員も、難病に伴う障がいについて勉強し、理解して欲しい。相互の理解やコミュニケーションの必要性を感じます。		
属性	知的・発達障がい・難病／39 歳／男性／中央区	事例応募者	障がい者の家族

事例１２

事例	福祉は一人だけを特別扱いする。国に税金を払っていないのに、贅沢をしている人がいる。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	―

事例１３

事例	福祉の人（ヘルパーなど）は、差別をする。差別をして自殺するようにいじめる。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	―

事例１４

事例	入院についてはガイドヘルパー等の派遣がされていないが、障がいのため、コミュニケーションが難しい場合の付き添いが必要な場合など、ヘルパーを自己負担で依頼するか、家族による付き添いが必要となった。		
改善提案	ガイドヘルパーの派遣を入院時の付き添いにも認める。		
属性	―	事例応募者	―

事例１５

事例	【東北大震災にて、郡山から避難した母と障がい(知的)の息子の事例について(父は、仕事上郡山に残った)】 西スポには健常者が避難し、すぐにボランティアや支援物資の受け入れ、〇〇〇対応は進んだが、福祉避難所では、何一つ案内、提供が無かった。この差には驚く。福祉避難所では、母と息子の他、身体障がい者と一緒で、襖一枚の仕切りで、10 畳和室で生活することに。廊下には「静かにすること」と書かれていたが、息子は理解できず、走ったり飛んだりして、周囲に嫌がられ、母のほうが精神的に参った。食事は、コンビニ程度の弁当を、市の職員が部屋へ届けていた。食べ盛りの息子に母の分を分け与え、環境の変化と安らぐ事も出来ずストレスが増すばかり、郡山へ帰りたいと望むようになり、予定より早く帰ってしまった。		
改善提案	中越地震の経験・反省等が活かされていなかったと思う。障がい者と健常者との対応の違いには、市が差別した感は否めない。障がいの種別に応じた対応は必要だと思う。知的は、親同士が助け合い、支え合う事ができるので、緊急時には、各区の公共機関の解放を望みます。例えば、社会福祉協議会・公民館等		
属性	知的／10 歳／男性／郡山市	事例応募者	障がい者相談員

事例１６

事例	知人のアスペルガー障がいの人が、ある作業所で、「あなたたちのようなＫＹ（空気の読めない人）」という表現をされ、傷つきました。		
改善提案	発達障がいについて、福祉関係者にも啓発を進めて欲しい。		
属性	発達障がい／55 歳／女性／中央区	事例応募者	障がい者の支援者

事例１７

事例	私は視覚障がい１級です。区役所の検診車による乳癌検診に出掛けた時のことです。受付で、「今度来る時は、一番最後の暇になった頃、来るように」と言われました。検診車内は、ヘルパーさんは入れないという事で、そこだけは職員の方のお世話になりました。衣服の着脱は自分でやりますし、私が加わる事によって、他の方に迷惑を掛けているのでしょうか。障がい者が来る所ではないと言わんばかりの口調に、やめて帰るべきだったと、今も後悔しています。今までに数回、検診車のお世話になりましたが、こんな悲しい、悔しい思いをした事は初めてでした。		
改善提案	―		
属性	視覚	事例応募者	―

事例１８

事例	施設職員が、威圧的な態度での声掛けをする。また、利用者によって違う態度をとる。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	障がい者の支援者

事例１９

事例	施設職員が、子供扱いをしているような声の掛け方をしていることがある。		
改善提案	―		
属性	―	事例応募者	障がい者の支援者

事例２０

事例	電話番号の交換などは、個人で判断することと思うのに、施設職員が施設利用者と交換することを施設は禁じている。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／53 歳／男性	事例応募者	本人

事例２１

事例	生活を送るようで、施設の都合が優先された。個別の対応より、施設の管理面の不都合で入所できなかった。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／46 歳／男性	事例応募者	―

事例２２

事例	許可を受けた作業所等は、定員が決められているので、入りたくてもなかなか入所が難しく（障がいの程度にもより）なっている。		
改善提案	―		
属性	知的／25 歳／女性／東区	事例応募者	―

事例２３

事例	障害年金を受ける時の行政施設の対応（職員の態度がすごく悪かった）		
改善提案	―		
属性	内部機能／50 歳／女性／西区	事例応募者	本人

事例２４

事例	手帳自体の差別、とくに交通機関の割引及び助成、精神手帳には無いため通院、今は親に頼っているが、市外なので 1 人で行くと一回 3,000 円以上かかる。		
改善提案	―		
属性	精神、発達障がい／37 歳／男性／西区	事例応募者	本人

事例２５

事例	高齢者施設と異なり障がい者施設の数が少なく、やむを得ず職員のレベルが低い施設を使用するしかないこと。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的／33 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例２６

事例	医療的ケアが必要なため、通所を断られた。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、知的、発達障がい／20 歳／男性／西蒲区	事例応募者	―

事例２７

事例	作業所で働いていた時になんとなく差別があったように感じる時がありました。		
改善提案	―		
属性	精神、発達障がい／35 歳／男性／西区	事例応募者	本人

事例２８

事例	目で物を探せない為、共同作業ができず、差別される。		
改善提案	―		
属性	視覚／62 歳／男性／江南区	事例応募者	―

事例２９

事例	保育園での受け入れを拒否された。		
改善提案	―		
属性	聴覚・平衡機能、発達障がい／5 歳／女性／中央区	事例応募者	―

事例３０

事例	希望して、入園した保育園で、障がい児に理解のあると思えた前任の園長と後任の園長の方針が全く違っていたため、とても居心地の悪い思いをしました。排せつの自立が完全でない為とのことで、皆と一緒にプールに入れず、かわいそうな思いをしました。これから入園されるうちの子のような子供さん達は、こんな思いをしないようになればいいと思います。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／7 歳／男性／北区	事例応募者	―

事例３１

事例	保育園の入園希望を出し見学に行ったら、そこの園長先生に「病気の人はこられない」と言われた。		
改善提案	―		
属性	知的、肢体不自由／13 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例３２

事例	預かりの保育料の料金が高い（0 才児と同じ料金）。学童保育には入れなかった。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／8 歳／男性／北区	事例応募者	―

事例３３

事例	保育園の看護師に、導尿を断られたこと。何のために看護師が園に居るのか、わからない。そのため、正職員からパート職員になって、1 日 3 回仕事を抜けて園まで導尿に行かなくてはならなくなった。		
改善提案	―		
属性	内部機能、発達障がい／5 歳／女性／江南区	事例応募者	―

事例３４

事例	保育園に行けなかった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／11 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例３５

事例	保育園で不当な扱いを受けた。		
改善提案	―		
属性	聴覚・平衡機能／3 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例３６

事例	手当ての説明を受ける際に、デリカシーのない、非常識な言動があった。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由、発達障がい／3 歳／女性／東区	事例応募者	―

事例３７

事例	保育園時代、担任から「この子普通じゃない。やっぱり変な子供」と言われるような事もありました。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／6 歳／男性／中央区	事例応募者	―

事例３８

事例	保育園の入園希望を出したら、身の回りの事が 1 人で出来ない事や手がかかるからとの理由で、遠まわしに断られた。		
改善提案	―		
属性	知的／4 歳／男性／南区	事例応募者	―

事例３９

事例	通園していた保育園で、同年代の子どもたちが参加する活動に参加させてもらえなかった。未満児と一緒の部屋で保育を受けた（年中の時に）。		
改善提案	―		
属性	肢体不自由／7 歳／男性／東区	事例応募者	―

事例４０

事例	校内区の小学校に通わせ、ひまわりクラブを利用したかったが、ひまわりクラブに入れなかったので、小学校の特別支援学級に通わせることができなかった。そのため、住んでいる地域とつながりがとても薄い。		
改善提案	―		
属性	知的、発達障がい／8 歳／男性／西区	事例応募者	―

事例４１

事例	施設で「〇〇さんは病気なんだな」と言われた事。		
改善提案	―		
属性	精神／26 歳／女性／西区	事例応募者	本人

事例４２

事例	好きで生活保護になった訳じゃないし、お金も全然。子供かかえて、はっきり言ってギリギリどころか足りない。〇〇サンは、金持ちだからわからないと思うが、生活保護の人や困ってる人の気持ちをわかってほしい。生活保護の担当者も、簡単に子供のアルバイトも全部とるし、年金もとるし。最初の年回に言いますが、労災の〇〇サンとか上の男の人。わからないと思って勝手に決めるな。会社は無視か！！		
改善提案	―		
属性	44 歳／女性／東区	事例応募者	本人

事例４３

事例	保育園入園前の市役所職員との面接の時、「きょうだいにも障がいがあるのではないか」としつこく聞かれた。		
改善提案	―		
属性	知的／33 歳／男性／東区	事例応募者	本人

事例４４

<table>
<tr><td>事例</td><td colspan="3">　このたびの法改正で、私たちがホームヘルパーやガイドヘルパーを利用するために、ケアマネージャーがつくようになり、月一回のモニタリングという聞き取りが行われるようになりました。
　これは、「福祉に予算をつける」といって、ケアマネージャーの人件費を無駄に増やしただけで、私たちの使い勝手としては、事業所との契約のほかにケアマネとの契約が増え、毎月のモニタリングの煩雑さが増えただけで、福祉サービスの向上にはなっていません。
　私が最初に紹介されたケアマネがどういうわけかとても暗い人で、仕事も話の進め方も遅かったり反復したりで、その人との面談は本当に時間の浪費としか感じられませんでした。</td></tr>
<tr><td>改善提案</td><td colspan="3">　制度を元のように戻していただきたいのが一番ですが、もし今後もケアマネと関わらなければならないのでしたら、ケアマネに、新潟市で以前窓口職員に対して行った「新潟市さわやか対応マニュアル」を使って面談業務の効率化を図り、好感度をアップしてほしいです。
　「〇〇（相談支援事業者）」と名乗るからには、私たちを応援してくれる立場のケアマネさんだと思うのですが、会うとかえってこちらのエネルギーが吸い取られてしまうようなケアマネさんには当たりたくないです。</td></tr>
<tr><td>属性</td><td>視覚</td><td>事例応募者</td><td>―</td></tr>
</table>